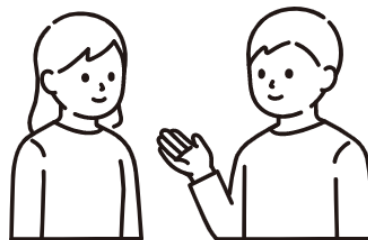


コラム

職員の「働きがい」や「悩み」は本当に見えにくいもの？

- ◆ 職場や上司に対する不満は、「働きがいを感じられない」、「職場や上司が職員の悩みを理解していない」などに起因すると考えられる。これらは離職の多い職場のアンケートやヒアリング調査で見られる典型例と言える。
- ◆ このような不満を解消していくためには、「個々の職員とじっくり向き合う」ことが何より大切となる。個人面談を実施している職場は多いが、事業所によって
 - ・ 「毎日1 on 1 ミーティング」を実施している取組事例
 - ・ 定期的に「キャリア面談」（将来の意向確認など）を実施している取組事例も見られる。



コラム

職員の「働きがい」や「悩み」は
本当に見えにくいもの？

- ◆ また、「人事評価」を通じて企業や上司と職員の意識合わせを行うケースも見られ、「働く上でのミスコミュニケーションを極力なくす」ことが効果的と言える。
- ◆ 昨今はコロナ禍により、これらの接点が減少している企業も多く、企業内のミスコミュニケーションは全産業的な課題となっている。**コミュニケーションを通じてその人の特性や意向などを把握する能力が、福祉人材は長けている。**利用者等と同様に、**職員に対しても日々見守りを行うなかで、上司の側からコミュニケーションを取ることが重要**と言える。